

**製品名: 嗅覚受容体 1S1/2 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab15171**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	33kDa

**抗原情報**

遺伝子名	OR1S1/OR1S2
別名	OR1S2; Olfactory receptor 1S2; Olfactory receptor OR11-231; OR1S1; Olfactory receptor 1S1; Olfactory receptor OR11-232
遺伝子 ID	219958/219959
SwissProt ID	Q8NGQ3/Q8NH92
免疫原	抗血清はヒト OR1S1/1S2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 241-290

**背景**

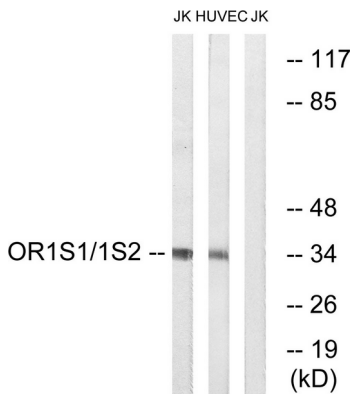
嗅覚受容体ファミリー 1 サブファミリー S メンバー 2 (OR1S2) ホモサピエンス嗅覚受容体は鼻腔内の嗅覚分子と相互作用し、嗅覚

の知覚を引き起こす神経反応を引き起こします。嗅覚受容体タンパク質は、単一のコーディングエクソン遺伝子から生じる G タンパク質共役受容体 (GPCR) の大規模なファミリーのメンバーです。嗅覚受容体は、多くの神経伝達物質受容体やホルモン受容体と 7 つの膜貫通ドメイン構造を共有し、嗅覚シグナルの認識と G タンパク質を介した伝達を担っています。嗅覚受容体遺伝子ファミリーはゲノム中で最大のファミリーです。この生物の嗅覚受容体遺伝子とタンパク質に割り当てられた命名法は、他の生物とは独立しています。 [RefSeq 提供、2008 年 7 月],注意:Met-1 と Met-14 のどちらがイニシエーターであるかは不明です。機能:嗅覚受容体。類似性:G タンパク質共役受容体 1 ファミリーに属します。、

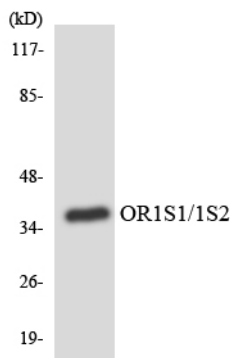
## 研究分野

嗅覚伝達;

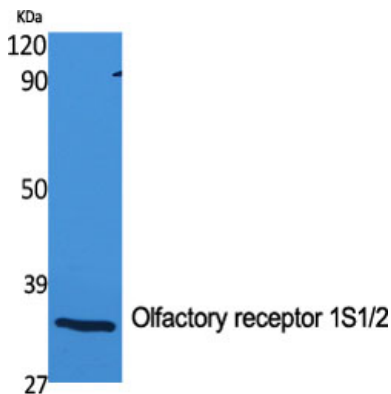
## 画像データ



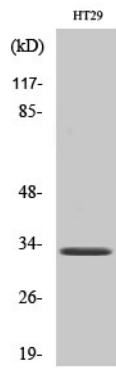
OR1S1/1S2 抗体を用いた Jurkat 細胞および HUVEC 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロックされている。



OR1S1/1S2 抗体を使用した HUVEC 細胞溶解物のウェスタンブロット分析。



嗅覚受容体 1S1/2 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析



嗅覚受容体 1S1/2 ポリクローナル抗体を用いた HuvEc 細胞のウェスタンブロット解析